

38

戦史資料

獨逸成方四十之旅團司令部

一、部隊名及部隊復歴、概要 部隊長名

船舶固定通信隊方二大隊方二中队

昭和十九年四月四日、母島出発、同年五月十一日、石垣島に陸

爾今、石垣島に在リテ船舶輸送ニ伴フ通信連絡ニ従ス

昭和二十年十二月二十四日復員、タノ石垣島出発、同年一月

二十九日浦賀に陸ス

部隊長名

陸軍少佐 道野、四郎

陸軍少將 高崎、武三

一、指揮隷属関係及賞、受、概要

内地出発以来方二大隊長、指揮下ニ在リテ勤務アリ

一、奉加勲章、五等功牌、戦績(戦歴)概要、死傷、損耗

21

陸軍

（納堂光國出典）

0901

昭和三年四月以降終戦迄敵機ノ猛烈ニ銃爆下ニ在リテ
通信勤務ガセムモ死傷損耗ナシ

一 給養 衛生

給養ニ燒方六二六ノ部隊ニ在場島出張所ノ給養ヲ委ケ
戦鬪激烈ニテ極メルニ從ヒ糧食減少セムモ現地自活ニヨリ甘藷
ヲ生産シ食糧ノ補給ヲセリ

衛生 現地到着以來衛生ニ注意シ全員元氣旺盛ナルモ

昭和十九年十一月始ニト全員デング熱ノタメ突熱セルモ約一ヶ月

ニテ全員快復セリ

昭和三年八月九月ヲマラリヤノタメ拘次ヲ突熱ニキニゾ教回

再突セルモ十月止旬快復爾後健康ナリ

一 終戦ヨリ帰還迄ノ行動概要

終戦後別種キ船ヲ輸送、進行ニ伴フ通信連絡ニ任スルモ

昭和三年十一月八日対向所通信機材撤収ノタメ連絡ヲ終止シ

陸軍

通信器材ノ研團通信隊ニ返納爾後專ラ現地自治ニカク
注キ増産ス

昭和二十年十一月二十四日復員ノタメ石垣島出發今年十一月

二十九日浦賀港ニ陸ス

一其ノ他部隊経歴中特異ト認メラルル事項

ナシ

昭和二十年十一月

0903

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 皇極經世一 皇極經世二 皇極經世三 皇極經世四 皇極經世五 皇極經世六 皇極經世七 皇極經世八 皇極經世九 皇極經世十 </p>										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0904